

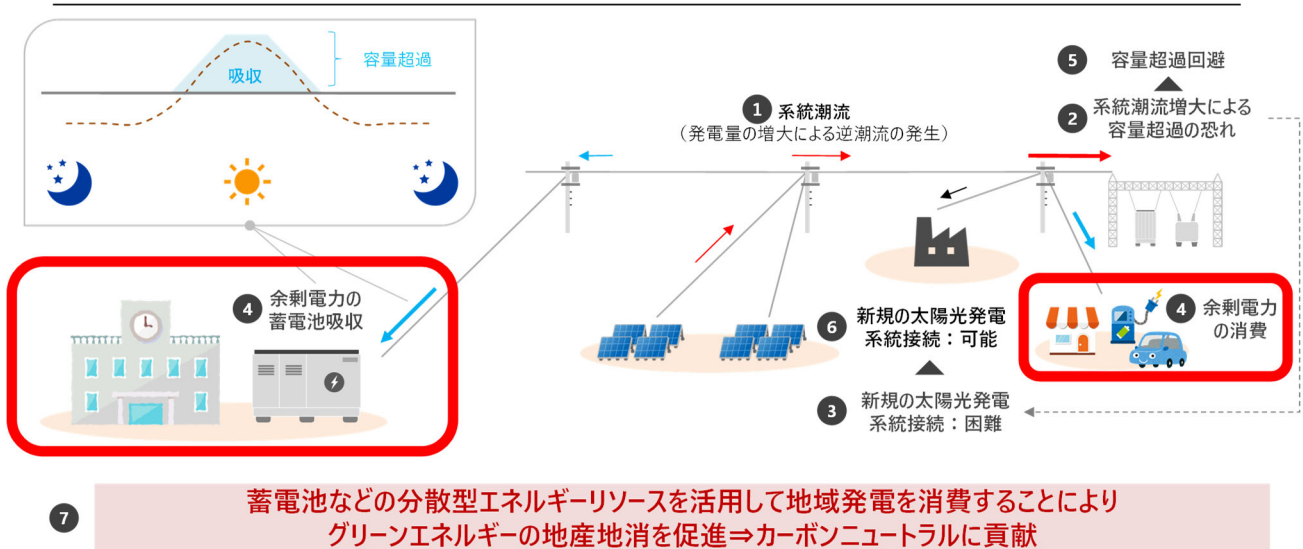
## フィールド実証概要

カーボンニュートラルの実現に向けた再エネの導入促進に伴い、さらなる太陽光発電の増加が見込まれます。発電量が電力消費量を大幅に上回り、電力系統の容量が不足する事態になると、太陽光発電量の増大が見込まれる晴天昼間において発電量を制限するか、より多くの電力を流せるよう設備増強工事を行う必要が生じます。

本フィールド実証では、蓄電池などの分散型エネルギーリソースの活用による系統混雑解消の実現性を確認するため、実際の電力系統に実証用のシステムを構築し、技術的な検証を行います。

この検証結果は、既存電力設備の能力を最大限引き出し、再エネ導入量の拡大に資するためのシステム開発に活かされ、電源の脱炭素化、再エネの地産地消促進など、カーボンニュートラル実現に寄与することが期待されます。

## フィールド実証イメージ



以上